

子ども

霞が関見学デー



枝のキーホルダーづくり



マイ箸づくりでカンナかけ

子ども霞が関見学デー 盛況に終わる

「子ども霞が関見学デー」は、各府省庁の業務の説明、職場見学やそれぞれの特色を生かした様々なプログラムを設け、親子のふれあいを深め、子どもたちが広く社会を知る機会とするために、農林水産省をはじめとす

る24府省庁が連携して、平成12年度から実施しています。今年度は、8月17日～18日に開催され、農林水産省には親子連れを中心に4千名余りが参加しました。このうち、林野庁のコーナー「子ども霞が関木工教室」には、2日間併せて延べ765名の子どもたちが参加するなど盛況に終わりました。

ミスキヤシラカバなどの枝を輪切りにしたものから好みの枝を選んだ小学生は、好きな絵を描き、金具をつけて世界に一つしかないキーホルダーをつくっていました。マイ箸づくりでは、使いたないカンナで国産ヒノキの木片を削って箸を完成させていました。

普段、カンナやキリなどの道具に触れる機会の少ない子どもたちは、スタッフの話を真剣に聞き入っていました。

会場には、国際森林年の今年、子ども大使をつとめるミュージカル「葉っぱのフレディ」の子役も訪れ、子ども霞が関見学デーを満喫していました。



会場を訪れた子ども大使を囲んで



会場の様子(農林水産省7F 講堂)